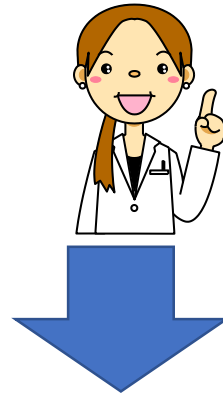
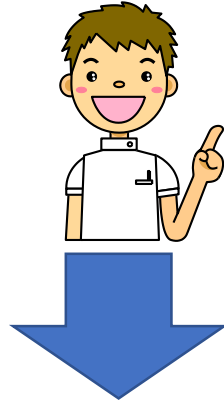
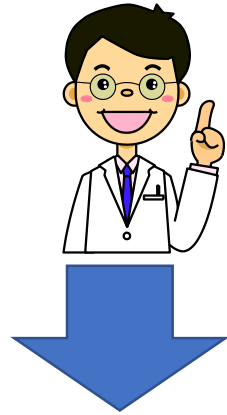


認定薬局整備に向けた 地域の多職種連携強化事業

専門医療機関との連携

現状と課題調査結果から

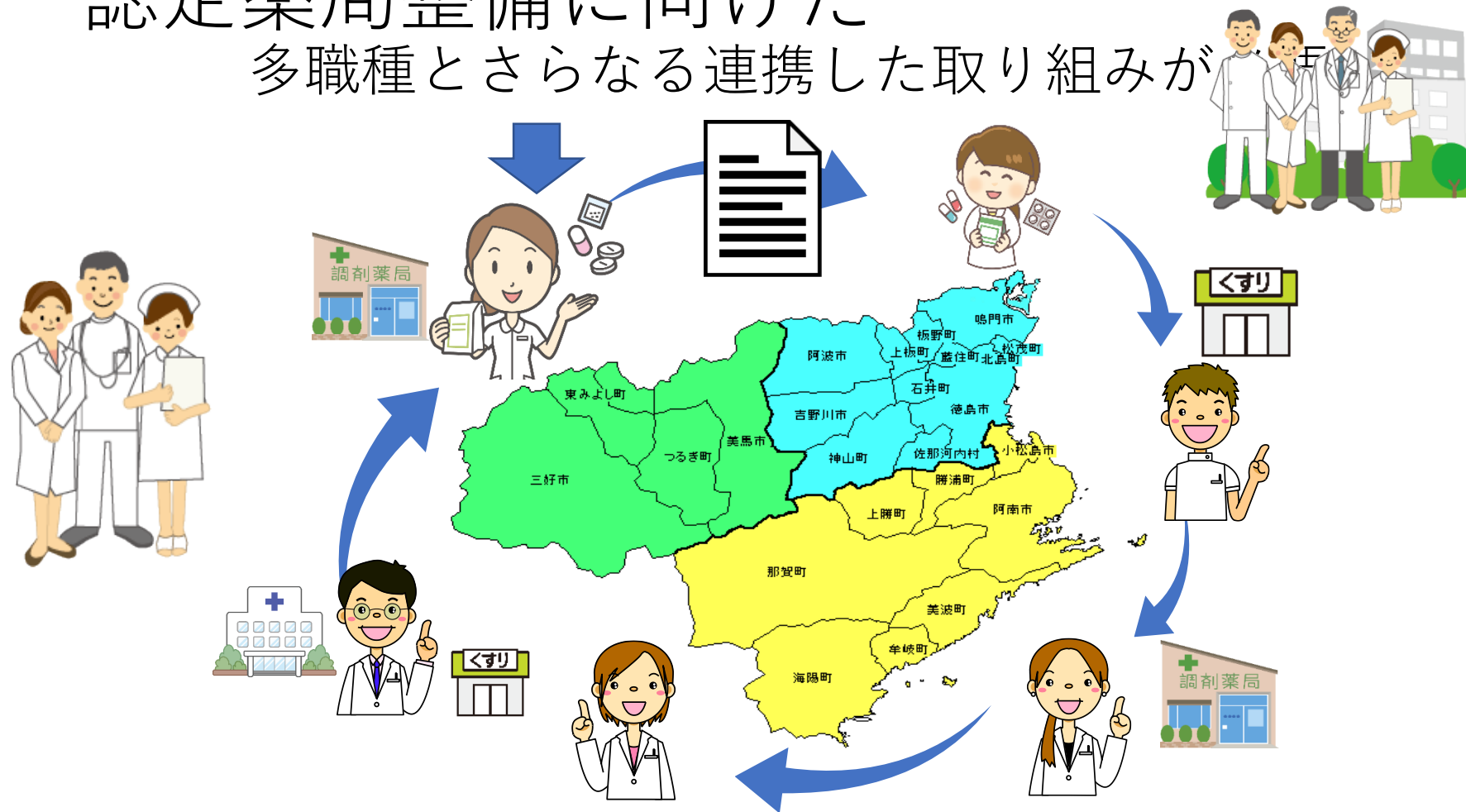
他職種から薬剤師に対しての期待



患者の残薬管理や副作用発現の未然防止の
ための処方提案等，対人業務の充実



認定薬局整備に向けた
多職種とさらなる連携した取り組みが



がん患者に対する薬局での薬学的管理等の評価 (新) 専門医療機関連携薬局

薬剤服用歴管理指導料 特定薬剤管理指導加算 2

100点（月1回まで）

連携充実加算届出医療機関
において
抗悪性腫瘍剤注射された患者

経口抗がん薬処方の
中間日



レジメン（治療計画）
文書により交付



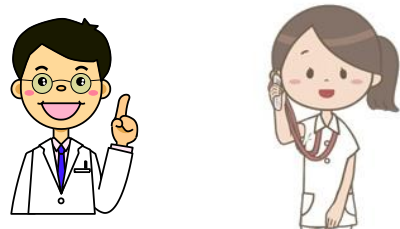
副作用対策の説明
支持療法に係る薬剤の
服薬指導

- 薬学的管理及び指導
同意を得た上で
調剤後に服用状況
手持ちの錠数
副作用の有無等 確認
副作用へのアドバイス

副作用はグレード評価し、
医療機関へ文書で情報提供

事業概要

医療機関との連携によるがん薬物療法の研修



- 医師やがん専門薬剤師等による代表的ながんの病態に関する研修
- 大学と連携したeラーニングシステムによる研修
- 病棟見学や病院薬剤師との合同研修



医師やがん専門薬剤師等による 代表的ながんの病態に関する研修

- 令和1年12月22日 19時 千秋閣

抗がん剤による薬物療法・がんの疼痛コントロール
かさまつ在宅クリニック 医師 笠松 哲司先生

がん患者と接する際の心構え、必要な知識、注意点
かさまつ在宅クリニック看護師 長谷 康子様

医師やがん専門薬剤師等による 代表的ながんの病態に関する研修

HP 閲覧可能

- **前立腺がん**

令和2年11月27日 19時 千秋閣

徳島県立三好病院

医師 中西 良一先生

薬剤師 坂本 充司先生

- **すい臓がん**

令和2年1月20日 19時 千秋閣

徳島赤十字病院

医師 石倉 久嗣先生

薬剤師 組橋 由記先生

- **乳がん**

令和2年1月22日 19時

グランドパレス

徳島市民病院

医師 日野 直樹先生

薬剤師 小中 健先生

- **肺がん**

令和2年2月16日 19時 千秋閣

徳島大学病院

医師 米田 浩人先生

薬剤師 櫻田 巧先生

E-Learning開設

<http://elearning.tokuyaku.or.jp/elearning/>



一般社団法人

Tokushima Pharmaceutical Association
徳島県薬剤師会

アクセス

アクセス

e-Learning

Home

認定薬局整備支援事業

E-Learning

e-ラーニングシステム

徳島県薬剤師会会員研修用にお役立てください



アクセス

E-Learning

お薬について

薬局を探す

検査センター職員募集

令和3年度（一社）徳島県薬剤師会検査センター
本年3月1日

「令和2年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補
手書き可能なpdf版掲載中！」

「令和2年度新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補
令和2年度事業の申請期限（令和3年2月28日）に間に合わない

一般社団法人 徳島県薬剤師会 E-Learning

ユーザーID
パスワード
言語 日本語 ▼
ログイン 取消

[一般社団法人 徳島県薬剤師会のホームページへ](#)

徳島県薬剤師会
会員専用
ID/パスワード入力

[▲このページのトップへ](#)

授業

一般社団法人 徳島県薬剤師会 E-Learning
tokuyaku | ログアウト

ホーム

授業科目

検索

授業科目一覧 → がん分野 → 授業

授業

成績

出席

Id: 001 授業名: がん薬物療法

がん薬物療法

1

再生速度: ☐ 0.75x ☒ 1.0x ☐ 1.25x ☐ 1.5x ☐ 2.0x
担当教員: 徳島大学薬学部 教授 土屋浩一郎
公開期間: 2021/02/01 00:00 ~ 2022/03/31 23:59
概要:

動画 頁: 1/3 <前 次>
[01 はじめに](#)
[02 総論](#)
[03 DNA攻撃型](#)
[04 代謝拮抗薬](#)
[05 タキサン](#)
音声 頁: 1/0 <前 次>
文書 頁: 1/0 <前 次>
Q&A 頁: 1/0 <前 次>
全画面表示

ver. 0003-0009 Copyright© 2021 Tokushima Pharmaceutical Association. All rights reserved.

▲ このページのトップへ

がんに関する知識習
得のための研修会
収録分もアップロー
ド準備中

再生速度調整 可能
担当教員
公開期間
概要説明

病棟見学や病院薬剤師との合同研修

- ・コロナ下の為、病棟見学はできませんでした。

- ・病院薬剤師との合同研修

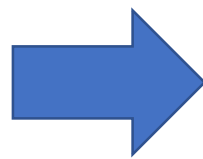
令和1年9月16日	19時	徳島赤十字病院
令和1年9月25日	19時	徳島市民病院
令和1年12月23日	19時	徳島赤十字病院
令和2年1月29日	19時	徳島市民病院

事業概要

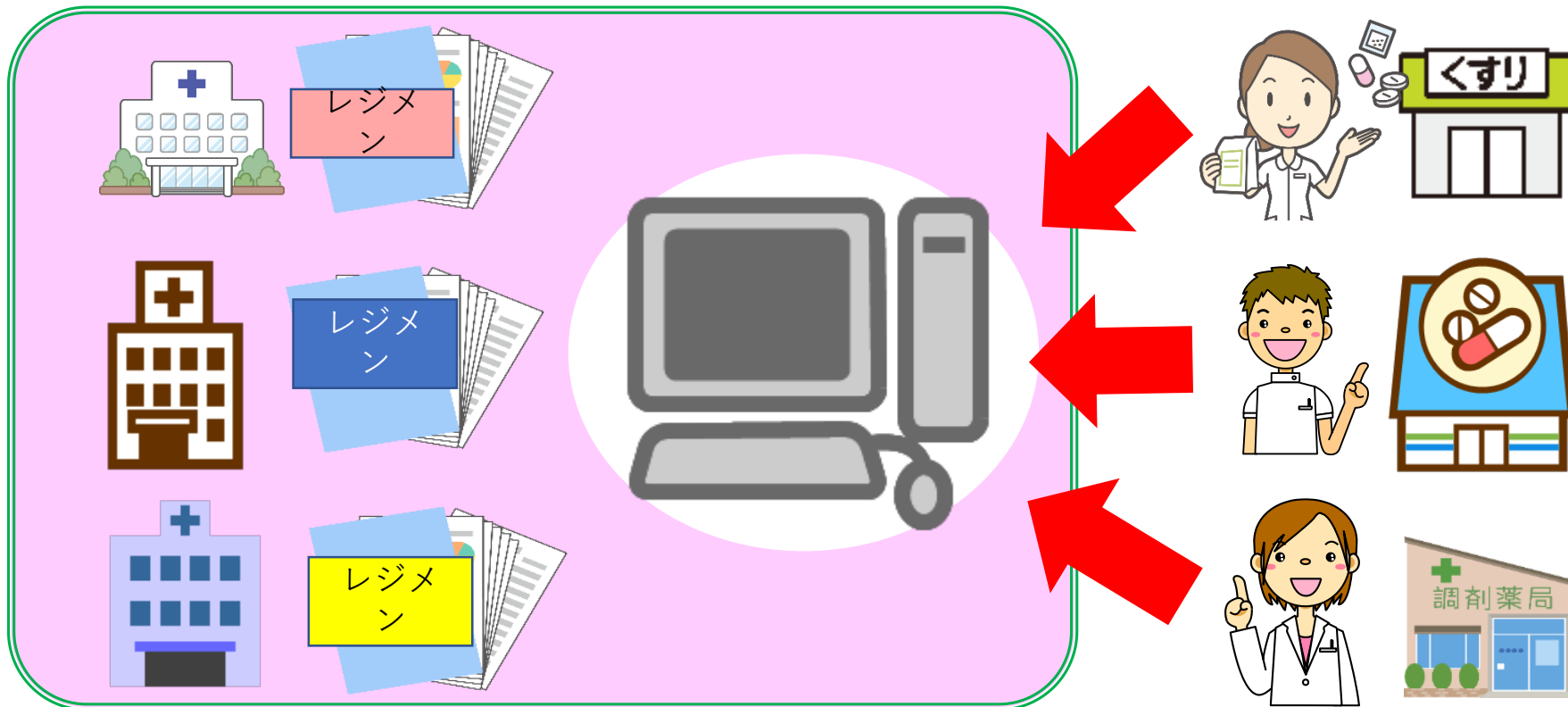
がん化学療法レジメンの情報共有



病院のレジメンを
データベース化



薬局薬剤師が検索し、
患者の効果的な
服薬管理に活用



		1病日	21病日
休業完了	休業完了		休業完了
文書作成	文書	● 休業完了21日目	
		内 211 非小細胞肺癌 アテゾリズマブ	
		がん免疫療法の副作用についての説明書・同意書	
注射	抗がん剤	実施確認：未 点滴末梢 メイン 大塚生食注 100mL 1瓶 1日1回 ライン確保用 ★パル輸液セット使用★ ――①	
		実施確認：未 点滴末梢 メイン 大塚生食注 250mL 1袋 アテゾリズマブ点滴静注 1200mg 1日1回 注入時間 1時間 ★パル輸液セット使用★ ★前回、異常なければ30分に短縮可 ――②	
		実施確認：未 点滴末梢 メイン 大塚生食注 100mL 1瓶 1日1回 点滴速度 200ml/h 注入時間 30分 ★投与後、1時間は観察を十分に… ――③	
	一般注射		

□免疫チェックポイント阻害薬の有害事象への対応

- 間質性肺疾患 …………… 息切れ、息苦しさ、空咳、発熱の症状が現れた場合、速やかに病院に連絡する。
- 大腸炎 …………… 腹痛を伴う粘液便、血便が現れた場合、速やかに病院に連絡する。
- 1型糖尿病 …………… 口や喉が渇き、水分摂取が普段より多い、尿量が普段より多い場合は速やかに病院に連絡する。
- 神経障害 …………… 手足に力が入らない、食べ物が飲み込みにくい場合は速やかに病院に連絡する。
- 皮膚障害 …………… 体に発疹が出ることがあるが、ひどい口内炎、まぶたや眼の充血を伴う場合は速やかに病院に連絡する。
- 内分泌障害 …………… 倦怠感が発現することがある。

カペシタビン療法

2週服用/1週休薬（3週毎）の場合

医薬品名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
カペシタビン錠	2500mg/ml/day	1日2回 朝夕食後	↓ 夕*1	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓ 朝						

*1：day2の朝～day15夕までの内服でも可能

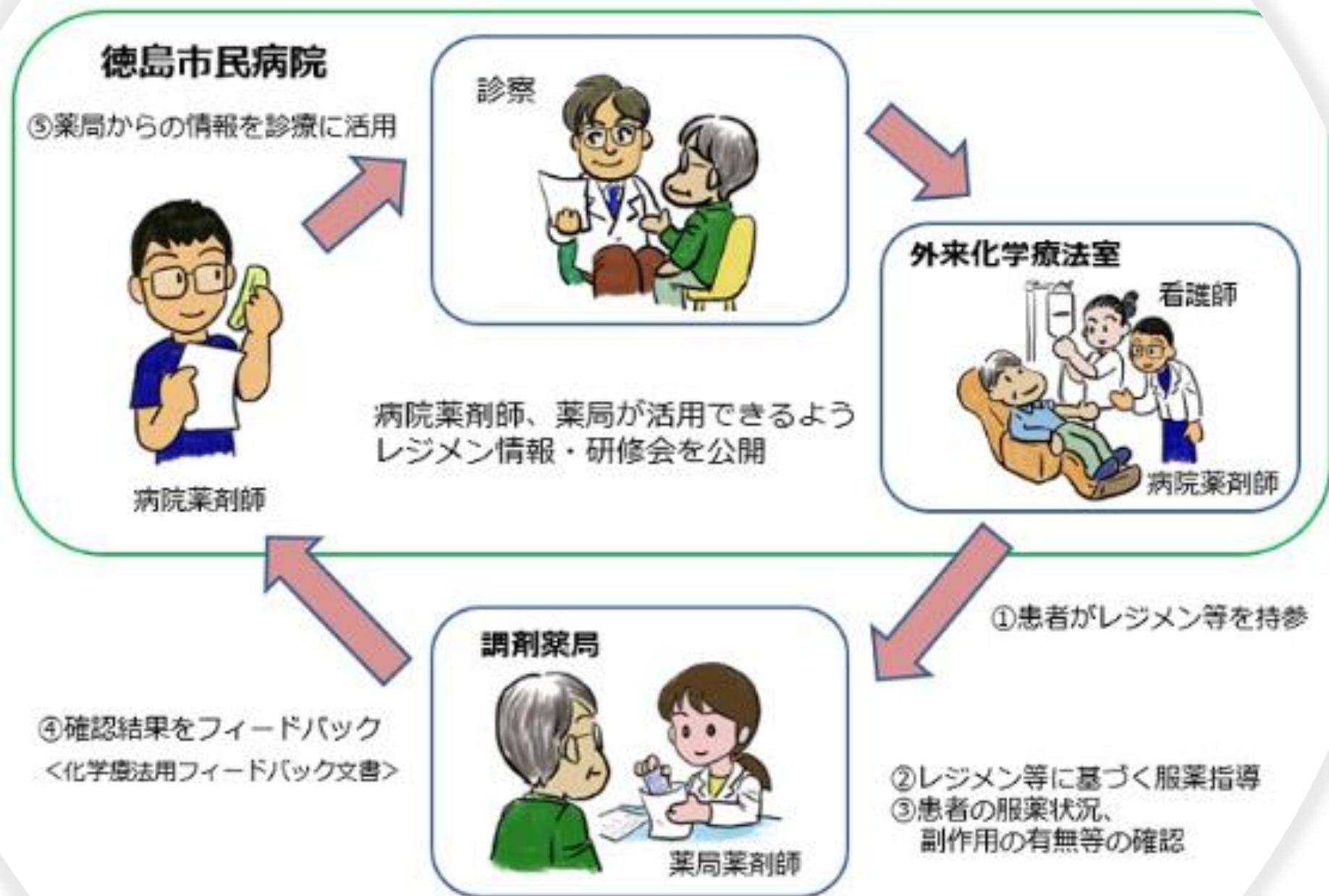
3週服用/1週休薬（4週毎）の場合

医薬品名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
カペシタビン錠	1650mg/ml/day	1日2回 朝夕食後	↓ 夕*2	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓ 朝						

*2：day2の朝～day22夕までの内服でも可能

副作用への対応

- 手足症候群 ----- 予防のために保湿剤を1日2回以上塗布。市販のハンドクリームや保湿剤で可。
- 悪心嘔吐、食欲不振 ----- 食事が摂りづらい時は、食べられるもの、好きなものを少しずつでも食べる。水分を摂るようにする。
- 下痢 ----- 点滴後2週目以降に便が緩くなることがあるので、排便記録をつける。
- 口内炎 ----- 予防のために食後の歯磨き、頻回（8回/日以上）のうがいをする。
- 好中球減少 ----- 感染症予防のために、外出後だけでなく自宅で過ごす時も手洗い・うがいを頻回（8回/日以上）に行う。



FOLFOX + Bev 療法

	12/14月曜日		12/27日曜日
同時服用	アバスチン 200mg (1時間点滴)		
	オキサリプラチン 100mg (2時間点滴)		休
	レボホリナート 250mg (2時間点滴)		薬
	5-FU (急速静注) 500mg (5分点滴)		完
	5-FU (持続点滴) 3000mg (46時間点滴)		

徳島市民病院 化学療法調剤室からの 情報提供

初日から数日

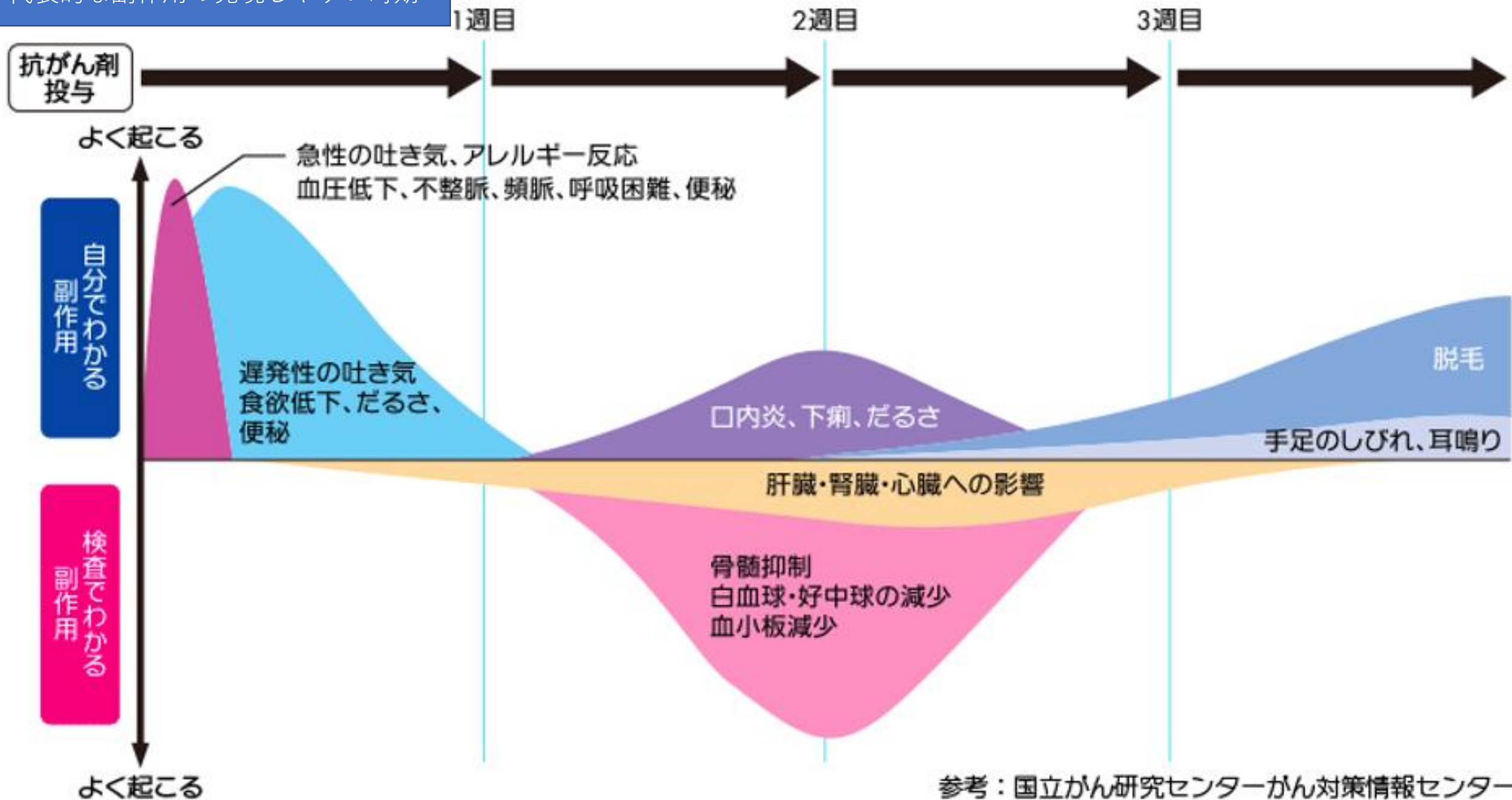
- 嘔吐（G r a d e 0）
- 食欲不振（G r a d e 0）
- 全身倦怠感（G r a d e 1）

数日～数週間

- 好中球減少（G r a d e 0）
- 貧血（G r a d e 2）
- 血小板減少（G r a d e 0）
- クレアチン上昇（G r a d e 0）
- しびれ（G r a d e 2）
- 口内炎（G r a d e 1）
- 下痢（G r a d e 1）

うがい手洗いをしましょう お口の中を清潔に

代表的な副作用の発現しやすい時期



参考：国立がん研究センターがん対策情報センター

テレフォンフォローアップの実施 その1

- **対象**

新規にTS-1、カペシタビンが処方され、口頭同意が得られた患者
新規以外にも副作用のフォローが必要と考えられる患者

- **方法**

経口抗がん薬投与日数の中間日に行う
テレホンフォローアップの日時を予め、患者と相談し決定しておく
カレンダー（予約表）を利用し、担当薬剤師が対応を行う

テレフォンプォローアップの実施 その2

- **実施事項**

- 服用状況、手持ちの錠数の確認

- 副作用確認ツールを用いて副作用発現の有無、グレード評価

- 副作用へのアドバイス

- **記録**

- 服薬情報提供書（化学療法フィードバック報告書） 記載

- 薬歴記載

副作用チェックシート（下痢）

ヒアリング内容：
性状（水っぽい等）、回数。
日常生活への影響度

抗がん剤内服患者
（下痢）

日常生活に
支障なし

ベースラインと比べて
< 4回/日

Grade1

日常生活に
支障なし

経過観察
飲水指導

☐ペラミド
事前処方あり

対症療法薬の
☐ペラミドを服用

軽快

経過観察
飲水指導

ベースラインと比べて
4～6 回/日

Grade2

☐ペラミド
事前処方なし

抗がん薬の休薬
医療機関受診勧告

☐ペラミド
事前処方なし

改善なし

日常生活に
支障あり

ベースラインと比べて
≥ 7回/日

Grade3

抗がん薬の休薬
医療機関受診勧告

☐ペラミド
事前処方あり

対症療法薬の
☐ペラミドを服用

軽快

経過観察
飲水指導

服薬情報提供書 (化学療法用フィードバック報告書) 記載

徳島市立病院 化学療法科薬理課
FAX:089-622-9342



病院薬局→徳島市立病院 薬剤部

服薬情報提供書(化学療法用フィードバック報告書)

<注意:このFAXによる情報伝達は、電話相談ではありません。>

報告日: 年 月 日

患者ID: 患者氏名: 生年月日:	病院薬局 名称: 所在地: 電話・FAX番号: 担当薬剤師名(病院薬局):																								
報告情報 取得日: 年 月 日() 情報提供元: 本人、家族(), 介護担当者() 聞き取り状況: 経路確認済・経路未・患者からの電話聞き取り・その他() 患者レジメン: 処方薬剤: 処方品名: 年 月 日()																									
注意事項 聞き取りがあると考えられる場合には薬剤師連絡するようにしてください。 Grade2以上の聞き取りがなく、次回薬剤師の聞き取りについて電話をお願いいたします。																									
☒ 有害事象	症状詳細 主な副作用症状でGrade2 又はGrade3程度ではCTCAE ver3.0に基づいて行っています <table border="1"> <tr> <td>嘔吐</td> <td>外典での診断内服薬を要する; 内科的治療を要する</td> </tr> <tr> <td>悪心</td> <td>顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない; 経口摂取量の減少</td> </tr> <tr> <td>食欲不振</td> <td>顕著な体重減少や栄養失調を伴わない; 摂取量の減少; 経口栄養剤による補充を要する</td> </tr> <tr> <td>口腔粘膜炎</td> <td>中等度の疼痛; 経口摂取に支障がない; 食後の処置を要する</td> </tr> <tr> <td>末梢神経障害</td> <td>中等度の症状がある; 身の回り以外の日常生活動作の制限</td> </tr> <tr> <td>全身倦怠感</td> <td>だるさ、または元気がない; 身の回り以外の日常生活動作の制限</td> </tr> <tr> <td>下痢</td> <td>ベースラインと比べて4-6回/日の排便回数増加; ベースラインと比べて人工肛門からの排便量が中等度増加</td> </tr> <tr> <td>便秘</td> <td>緩下剤または清腸の定期的な使用を要する持続的状況; 身の回り以外の日常生活動作の制限</td> </tr> <tr> <td>浮腫</td> <td>四肢関節の腫れが最も大きく見える部分で、体重または血清の量が>20-30%; 腫脹または四肢の解剖学的構造が不明瞭になっている</td> </tr> <tr> <td>高血圧</td> <td>ステージ1の高血圧(収縮期血圧140-159mmHgまたは拡張期血圧90-109mmHg); 内科的治療を要する; 持続的または持続的</td> </tr> <tr> <td>皮膚障害</td> <td>中等度、微小限/局所的/非持続的治療を要する; 継続的の身の回り以外の日常生活動作の制限</td> </tr> <tr> <td>その他 ()</td> <td></td> </tr> </table>	嘔吐	外典での診断内服薬を要する; 内科的治療を要する	悪心	顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない; 経口摂取量の減少	食欲不振	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない; 摂取量の減少; 経口栄養剤による補充を要する	口腔粘膜炎	中等度の疼痛; 経口摂取に支障がない; 食後の処置を要する	末梢神経障害	中等度の症状がある; 身の回り以外の日常生活動作の制限	全身倦怠感	だるさ、または元気がない; 身の回り以外の日常生活動作の制限	下痢	ベースラインと比べて4-6回/日の排便回数増加; ベースラインと比べて人工肛門からの排便量が中等度増加	便秘	緩下剤または清腸の定期的な使用を要する持続的状況; 身の回り以外の日常生活動作の制限	浮腫	四肢関節の腫れが最も大きく見える部分で、体重または血清の量が>20-30%; 腫脹または四肢の解剖学的構造が不明瞭になっている	高血圧	ステージ1の高血圧(収縮期血圧140-159mmHgまたは拡張期血圧90-109mmHg); 内科的治療を要する; 持続的または持続的	皮膚障害	中等度、微小限/局所的/非持続的治療を要する; 継続的の身の回り以外の日常生活動作の制限	その他 ()	
嘔吐	外典での診断内服薬を要する; 内科的治療を要する																								
悪心	顕著な体重減少、脱水または栄養失調を伴わない; 経口摂取量の減少																								
食欲不振	顕著な体重減少や栄養失調を伴わない; 摂取量の減少; 経口栄養剤による補充を要する																								
口腔粘膜炎	中等度の疼痛; 経口摂取に支障がない; 食後の処置を要する																								
末梢神経障害	中等度の症状がある; 身の回り以外の日常生活動作の制限																								
全身倦怠感	だるさ、または元気がない; 身の回り以外の日常生活動作の制限																								
下痢	ベースラインと比べて4-6回/日の排便回数増加; ベースラインと比べて人工肛門からの排便量が中等度増加																								
便秘	緩下剤または清腸の定期的な使用を要する持続的状況; 身の回り以外の日常生活動作の制限																								
浮腫	四肢関節の腫れが最も大きく見える部分で、体重または血清の量が>20-30%; 腫脹または四肢の解剖学的構造が不明瞭になっている																								
高血圧	ステージ1の高血圧(収縮期血圧140-159mmHgまたは拡張期血圧90-109mmHg); 内科的治療を要する; 持続的または持続的																								
皮膚障害	中等度、微小限/局所的/非持続的治療を要する; 継続的の身の回り以外の日常生活動作の制限																								
その他 ()																									
報告有害事象の詳細																									
薬剤師記入欄 □FAX量付内容確認(カルテ転記、外典連絡、医師連絡) 担当薬剤師名:																									

Grade	有害事象
0	嘔吐
1	悪心
0	食欲不振
0	口腔粘膜炎
1	末梢神経障害
1	全身倦怠感
3	下痢
0	便秘
0	浮腫
0	高血圧
0	皮膚障害
1	その他 (鼻血)

**服薬情報提供書
(化学療法用フィードバック報告書) 記載**

神戸市農林院 化学療法科薬理室

FAX:058-622-9342

兵庫県今市徳島市農林院 薬理部

服薬情報提供書(化学療法用フィードバック報告書)

<注意:このFAXによる情報伝達は、経路開業ではありません>

報告日: 年 月 日

患者ID: _____ 患者氏名: _____ 出生年月日: _____	病院名称: _____ 名称: _____ 所在地: _____ 電話・FAX番号: _____ 担当薬剤師名(病院名称): _____
--	--

報告情報 取得日: 年 月 日()

情報提供先: 本人、家族(), 介護担当者()

聞き取り状況: 経路維持・訪問時・患者からの電話聞き合わせ、その他()

患者シグメン: _____

対象薬剤: _____

該当処方日: 年 月 日()

注意事項

開食性があると考えられる場合には薬物経路連絡するようにしてください。

grades以上の開食性がなく、次開食時の情報提供について転送をお願いいたします。

✓ 有害事象	症状詳細
嘔吐	主な副作用症状なのでgrades 2 - 3のgrades程度ではCTCAE ver.3.0に基づいて行っています
悪心	食欲不振・体重減少、脱水または栄養失調を伴わない腸口排泄量の減少
食欲不振	食欲不振・体重減少を伴わない腸口排泄量の減少
口乾・結核	中等度の悪化: 腸口排泄に支障がない; 食事の摂取を要する
末梢神経障害	中等度の悪化がある; 身の回り以外の日常生活動作の制限
全身倦怠感	軽度または中等度の悪化; 身の回り以外の日常生活動作の制限
下痢	ペースサインと比べて4-5回/日の排便回数増加; ペースサインと比べて人工肛門からの排便量が中等度増加
便秘	軽度または中等度の悪化の悪化を要する持続的悪化; 身の回り以外の日常生活動作の制限
浮腫	悪化の悪化が最も大きく見える部分で、体重または栄養の量が> 20-30%; 腫脹または悪化の悪化; 悪化の悪化が不明瞭になっている
高血圧	ステージ1の高血圧 (収縮期血圧 140-159 mmHg または拡張期血圧 90-99 mmHg); 内科的治療を要する; 悪化または持続的
皮膚障害	中等度; 最小限/悪化の悪化を要する; 悪化または身の回り以外の日常生活動作の制限
その他	()

報告有害事象の詳細

薬剤師記入欄

口FAX受付内容確認(カルテ転記、外売連絡、医師連絡)

担当薬剤師名:

散歩時に息切れがする。

下痢の日は30分に1回となることもあり、一番つらい。

粘液便の時のみ出血がみられる。

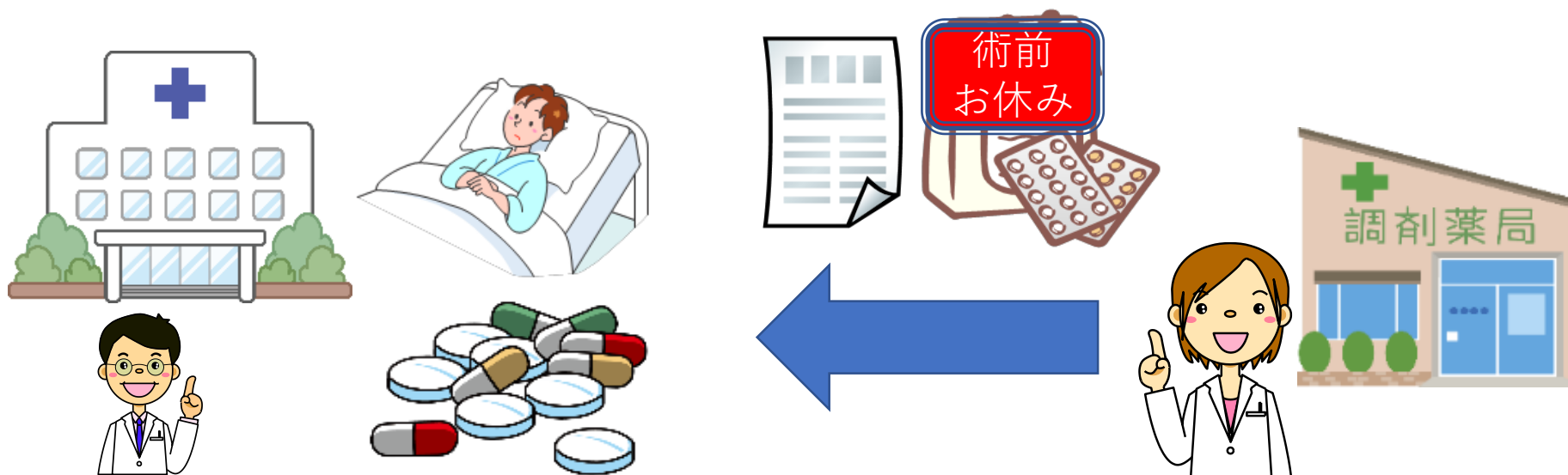
鼻血が気になるようになった。

水を使うと手が痛いがお湯を使うときは大丈夫。

イーケプラ開始後、傾眠傾向があります。

事業概要

多職種連携による入退院時における有効な薬物療法を提供する仕組みの構築



- ・手術や検査前に休薬や減薬が必要な薬剤の情報提供
- ・入院時の持参薬や過去の副作用歴，一般用医薬品や健康食品の使用歴についてかかりつけ薬局から情報提供
- ・退院時カンファレンスに薬局薬剤師も参加

入退院時における お薬手帳を用いた情報共有

退院時のおくすりに
ついてのお知らせ

共有情報

- ・ 退院日
- ・ 次回外来予定日
- ・ 入院中に使用した主な薬
(退院時処方を含む)
- ・ 処方医師
- ・ 持参薬
- ・ 退院後服薬上の注意点
- ・ アレルギーの有無
- ・ 薬剤副作用の経験
- ・ 調剤にあたっての留意点
- ・ その他

お薬手帳へ貼付

薬の記録

退院時のおくすりについてのお知らせ 2021年3月8日

様

退院日

次回外来予定日

・入院時におけるあなたのおくすりに関する特記事項や退院時の注意点についてお知らせします。
・調剤を受ける薬局や病院・診療所などにかかれる時に持参すると、あなたに関する情報を伝えることができます。

入院中に使用した主なおくすり(退院時処方を含む)

処方医師: 近藤 研司

薬品名	用量	用法
ブリンD輸液 500 mL	注射薬	点滴末梢 メイン 1日1回

処方医師: 野崎 淳平

薬品名	用量	用法
アセリオ静注液 100 0mgバッグ 100mL	注射薬	点滴末梢 メイン 側管 1日1回

処方医師: 近藤 研司

薬品名	用量	用法
セファゾリンNa点滴 静注用1g/バッグ「オーツカ」 100mL	注射薬	点滴末梢 メイン 側管 1日1回
ダイフェン配合錠	朝:2錠 夕:2錠	1日2回 朝・夕食後
ランソプラゾールOD錠 15mg「日医工」	夕:1錠	1日1回 夕食後
カロナール錠500	朝:1錠 昼:1錠 夕:1錠	1日3回 朝・昼・夕食後

処方医師: 福森 知治

薬品名	用量	用法
メトクロプラミド錠5mg「デバ」	朝:1錠 昼:1錠 夕:1錠	1日3回 朝・昼・夕食後
ジーラスタ皮下注3.6mg 0.36mL	注射薬	皮下注射 1日1回 夕

●薬についての質問等はメモに書き留めてください

持参薬

薬品名	用量	用法
メトクロプラミド錠5mg「トーフ」	朝:1錠 昼:1錠 夕:1錠	1日3回 朝・昼・夕食後
デカドロン錠0.5mg	朝:1錠	1日1回 朝食後
プロマックD錠75	朝:1錠	1日1回 朝食後
レバミピド錠100mg「トーフ」	朝:1錠 昼:1錠 夕:1錠	1日3回 朝・昼・夕食後
カロナール錠500	朝:1錠 昼:1錠 夕:1錠 寝:1錠	1日4回 朝・昼・夕食後、ねる前
ロキソプロフェンNa錠60mg「トーフ」	1回 1錠	痛い時
マグミット錠330mg	朝:1錠 昼:1錠 夕:1錠	1日3回 朝・昼・夕食後
センノシド錠12mg「JD」	1回 2錠	便秘時

退院後の服薬上の注意点

アレルギーの有無 ☐ 有 ☒ 無

薬剤副作用の経験 ☐ 有 ☒ 無

調剤にあたっての留意点(調剤上の工夫等)

その他

ダイフェン配合錠、ランソプラゾールOD錠15mg「日医工」終了
ジーラスタ皮下注3.6mg 0.36mL→3/9投与→中止
デカドロン錠0.5mg→隔日投与

徳島市民病院

住所 千770-0812 徳島県徳島市北常三島町2丁目34番地

電話番号 088-622-5121

担当薬剤師

医療機関、住所、
連絡先、担当薬剤師

事業実施結果

主な事業



- | | |
|----------------|---|
| 令和2年7月～令和3年3月 | ・がん化学療法レジメンの情報収集
・連携シートの具体的な活用例の収集とデータベース化 |
| 令和2年12月～令和3年2月 | ・医療機関との連携によるがん薬物療法の研修 |
| 令和3年2月 | ・がん薬物療法のeラーニングシステムの構築
・医療機関との連携によるがん薬物療法の研修に参加出来なかった薬剤師が学習出来るよう薬剤師会HPの整備 |
| 令和3年3月 | ・がん化学療法レジメンの情報共有に向け薬剤師会のHPから閲覧出来るよう整備 |

事業の効果

がん化学療法レジメンの
情報共有



効果的な患者の
服薬管理

医療機関との連携によるがん
薬物療法の研修



病院と薬局が患者に対し同等レベルで薬物療法の評価を実施

入退院時の患者にとって
有効な薬物療法の提供



薬局薬剤師の資質向上

「連携シート」と「マニュアル」の活用



多職種協同による有害事象の早期発見・回避

専門医療機関連携薬局の認定 を目指した
薬剤師・薬局の機能強化

患者の生活の質（QOL）や日常生活動作（ADL）向上、介護度低下
医療費の適正化